



あましのディスクロージャー 令和6年度上半期開示レポート



夢・希望・未来

天草信用金庫

天草信用金庫は「天草市陸上競技場ネーミングライツ・パートナー」として、「天草市スポーツコミッション活動戦略」の新たな拠点とし、“市民の健康増進や競技力向上が図られること、スポーツ大会・合宿等の誘致により、交流・関係人口の創出が期待できること”等々、地域の文化やスポーツに積極的に関与することにより、新たな「共創の場」をもたらし、天草地域の活性化につながり、地域の更なる発展に貢献いたします。

－ ご あ い さ つ －

平素より、格別のご愛顧、お引き立てを賜り誠にありがとうございます。
おかげさまで令和6年9月期の半期決算におきましても、健全経営を維持向上させるための適正な収益を確保することができました。これもひとえに会員をはじめ地域の皆様のあたたかいご支援の賜物と深く感謝しております。

さて、本年度も4月から9月までの経営活動の主な実績を開示したディスクロージャー【令和6年度上半期開示レポート】により、当金庫の業況や財務状況などをご報告いたします。

今後も活力あふれる共創社会を目指し、事業者・地域支援活動に役職員一同全力で取り組んでまいりますので、さらなるご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年11月吉日



会 長 山田 清和



理事長 田中 豊浩

《 開 示 項 目 》

令和6年9月末

- ◆ 地域社会と天草信用金庫
- ◆ 預金・積金残高と貸出金残高及び預貸率の推移
- ◆ 貸出金業種別内訳
- ◆ 損益の状況
- ◆ 有価証券の時価情報と預証率
- ◆ 単体自己資本比率の状況【国内基準】
- ◆ 信用金庫法に基づくリスク管理債権及び引当・保全状況
- ◆ Close UP 第3回あましんフォトコンテスト開催

このディスクロージャー誌に掲載している数値などについては未監査であります。

※掲載している数値は、原則として単位未満を切捨て、構成比は単位未満を四捨五入しています。

《 あ ま し ん の 概 要 》

令和6年9月末現在

創 立	昭和24年4月12日
本店所在地	熊本県天草市太田町9番地3
会 員 数	20,806名
出 資 金	431百万円
店 舗 数	11店舗
店舗外現金自動設置装置	7カ所
共同現金自動設備設置個所	1カ所
常勤役員数	134名

<https://www.shinkin.co.jp/amakusa/>

地域社会と天草信用金庫

日本の宝島“天草”

天草信用金庫は、地元の中小企業や住民の皆様が会員となって、お互い助け合い、お互い発展していくことを理念とする協同組織の地域金融機関です。営業区域は、天草市、上天草市、天草郡苓北町、宇城市三角町の2市2町で、天草市に本店を置きます。

昭和24年4月の創立以来、天草に唯一本店を置く協同組織の地域金融機関として、積極的に金融の円滑化に取り組んでまいりました。また、地域社会を構成する一市民の立場を自覚し、徹底した地元優先の運営方針のもと、地域経済活性化や産業振興支援をはじめとして、社会・環境・文化・教育・スポーツ・郷土芸能等々様々な分野において、人が輝き活力あふれる「日本の宝島“天草”の創造」に一役買いたいと考え、日々努力しております。

地域とのつながり

会員はじめ
お取引先のご支援
や利便性向上等

地元の資金は地元のために

ご融資金額：71,624百万円

お客様・地元
からの信頼

預金・積金の増加
天草信用金庫

地域社会の一市民として

役職員数： 134名
店舗数： 11店舗
会員数： 20,806名
出資金： 431百万円

信頼・信用の証

預金・積金残高：147,074百万円

当金庫のパーパス

健全性・
安全性の確保

令和6年9月期の決算状況

経常収益：1,583百万円
経常利益：654百万円
業務純益：277百万円
当期純利益：565百万円
自己資本比率：20.21%

共に描き・育み・成長し、天草信用金庫は活力あふれる共創社会を目指します。

当金庫は、「共存・共栄」の経営理念のもと、地域と助け合い、お互いに成長していくことを共通の理念としている協同組織の地域金融機関です。

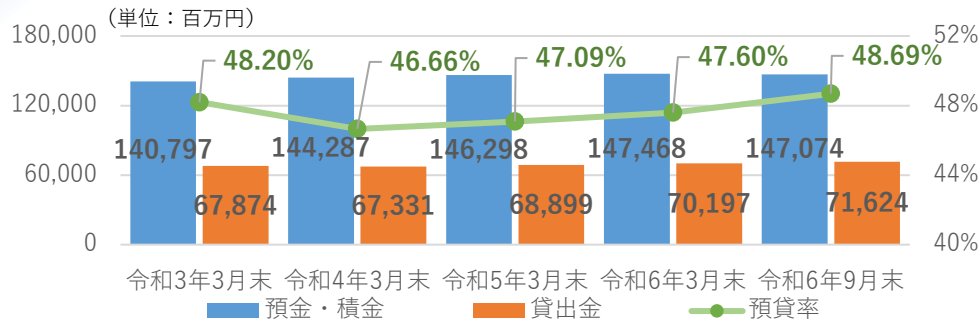
天草という限られた地域で事業活動を行っている運命共同体でこの地域がなければ天草信用金庫は存在できません。これからも最も身近で信用・信頼される地域金融機関を目指して未来への希望と夢を描き、先人たちの知恵・技術・情熱を貴重な財産として守り育み、さらに深化・成長し、活力あふれる「日本の宝島“天草”」をデザイン(共創)してまいります。



Amakusa

あましんの 信頼性 健全性 安全性 を示す
バロメーターをご覧ください

● 預金・積金残高と貸出金残高及び預貸率の推移



信頼性の
バロメーター

Reliability

預金・積金は、地域の課題解決に繋がる寄付事業の要素を盛り込み懸賞品付き定期預金のキャンペーン（令和6年6月10日～8月30日）を実施するなど、推進に努めたものの、貯蓄マインドの低下等により定期性預金が減少し、前期末比△3億93百万円減少（減少率△0.26%）し、9月末残高は1,470億74百万円となりました。

貸出金は、地域事業所の事業・雇用の継続に必要な運転・設備資金等の積極的な対応やアパート・マンション等新築及び中古物件の購入資金の対応等により事業性資金は増加しております。個人向け貸出金については、引続き地域における需要が多いマイカーと教育ローンに特別優遇金利を設定しキャンペーンを実施するなど推進に努めましたが、住宅ローンの資金需要が例年と比較すると低調に推移していることもあり減少しております。地方公共団体向け融資については増加したことから、貸出金全体では、前期末比14億27百万円増加（増加率2.03%）し、9月末残高は716億24百万円となりました。

防災活動にかかる寄付金贈呈式



天草島内2市1町に対し住民の安全確保や地域の防災活動にお役立ていただきたく募集総額1,419,804千円の0.05%相当額709,902円を各自治体に配分し寄付しました。

● 貸出金業種別内訳

(単位：百万円、%)

業種別	令和6年3月末			令和6年9月末		
	先 数	残 高	構成比	先 数	残 高	構成比
製造業	107	2,384	3.4	106	2,435	3.4
農業、林業	26	204	0.3	30	246	0.3
漁 業	97	1,594	2.3	97	1,728	2.4
鉱業、採石業、砂利採取業	4	99	0.1	4	102	0.1
建設業	164	3,741	5.3	165	3,971	5.5
電気・ガス・熱供給・水道業	44	2,020	2.9	41	1,920	2.7
情報通信業	2	181	0.3	2	165	0.2
運輸業、郵便業	77	3,969	5.7	76	3,705	5.2
卸売業、小売業	227	3,133	4.5	217	2,914	4.1
金融業、保険業	6	22	0.0	5	24	0.0
不動産業	138	8,166	11.6	143	9,114	12.7
物品賃貸業	7	373	0.5	7	365	0.5
学術研究、専門・技術サービス業	4	14	0.0	4	13	0.0
宿泊業	39	2,916	4.2	39	2,908	4.1
飲食業	101	1,101	1.6	100	1,131	1.6
生活関連サービス業、娯楽業	55	720	1.0	53	821	1.1
教育、学習支援業	12	274	0.4	11	301	0.4
医療・福祉	46	1,672	2.4	49	1,792	2.5
その他のサービス	109	1,627	2.3	110	1,568	2.2
小 計	1,265	34,219	48.7	1,259	35,234	49.2
地方公共団体	8	10,963	15.6	8	11,799	16.5
個人（住宅・消費・納税資金等）	6,472	25,014	35.6	6,380	24,590	34.3
合 計	7,745	70,197	100.0	7,647	71,624	100.0

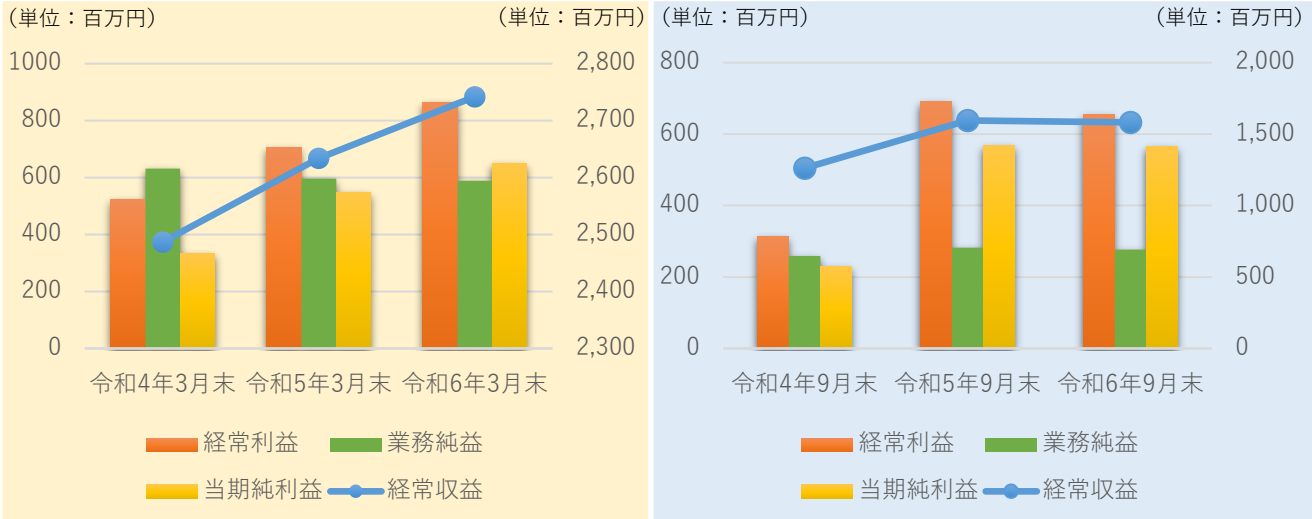
※業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しています。

● 損益の状況

(単位：百万円)

科 目	令和4年3月末	令和5年3月末	令和6年3月末	令和4年9月末	令和5年9月末	令和6年9月末
経 常 収 益	2,487	2,634	2,742	1,263	1,596	1,583
経 常 利 益	523	706	864	313	691	654
業 務 純 益	631	596	589	259	282	277
当 期 純 利 益	332	547	648	228	568	565

◆ 経常収益、経常利益、業務純益、当期純利益



収益については、貸出金平残は増加しましたが、貸出金利回りが低下したことから、貸出金利息収入は減少しました。費用については、預金・積金平残は減少しましたが、預金金利の引上げにより、預金利回りが上昇したことから、支払利息は増加しております。なお、その他効率的な調達や資金運用に努めた結果、業務純益2億77百万円、当期純利益は5億65百万円と、令和6年度も適正利益を確保しております。

● 有価証券の時価情報と預証率

◆ その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

区 分	令和6年3月末					令和6年9月末				
	取得原価	貸借対照表計上額	評価差額	うち評価益		取得原価	貸借対照表計上額	評価差額	うち評価益	
				うち評価益	うち評価損				うち評価益	うち評価損
株 式	9,847	21,035	11,188	11,272	83	9,652	19,074	9,421	9,515	94
債 券	15,367	14,610	△756	32	789	15,099	14,212	△887	20	907
国 債	2,265	2,256	△9	32	41	2,259	2,225	△34	20	54
地方債	8,653	8,017	△636	—	636	8,633	7,891	△741	—	741
社 債	4,447	4,336	△110	0	110	4,206	4,095	△111	0	111
その他	424	697	273	273	—	424	632	208	208	—
合 計	25,638	36,343	10,705	11,577	872	25,176	33,919	8,742	9,744	1,001

※貸借対照表計上額は、令和6年9月30日現在における市場価格等に基づく時価により計上したものであります。
※「うち評価益」「うち評価損」はそれぞれ「評価差額」の内訳であります。

◆ 預証率

(単位：百万円、%)

項 目	令和6年3月末	令和6年9月末
有 価 証 券 (期 末 残 高) (A)	36,355	33,931
預 金 ・ 積 金 (期 末 残 高) (B)	147,468	147,074
預 証 率	(A/B)	24.65
	期中平均	23.07

健全性の バロメーター

Soundness

自己資本比率 = 20.21%

自己資本比率は、金融機関の健全性・安全性を示す基本的な指標で、信用金庫の場合は4.0%（国内基準）以上であることが求められております。

当金庫の令和6年9月末の自己資本比率は20.21%で国内基準の5倍にあたり、健全性・安全性とも高い水準にあると認識しております。

当金庫の自己資本比率が高い水準を維持しているのは、早くから、每期適正利益を確保し、自己資本を高めていかなければならないとの認識のもと、地道に自己資本の積上げと経営の健全性・安全性・透明性の向上に取り組んできた結果によるものです。

● 自己資本比率の推移



● 自己資本の充実度に関する事項

（単位：千円）

項 目	令和6年3月末		令和6年9月末	
		経過措置による不算入額		経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目 (1)				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	12,999,083		13,562,163	
うち、出資金及び資本剰余金の額	434,064		431,563	
うち、利益剰余金の額	12,572,397		13,130,600	
うち、外部流出予定額 (△)	7,377		—	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	232,988		156,648	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	232,988		156,648	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	13,232,072		13,718,811	
コア資本に係る調整項目 (2)				
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	14,328		14,014	
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものの以外の額	14,328		14,014	
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	14,328		14,014	
自己資本				
自己資本の額 [(イ) - (ロ)] (ハ)	13,217,743		13,704,796	
リスク・アセット等 (3)				
信用リスク・アセットの額の合計額	63,765,441		64,175,611	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	—		—	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	—		—	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	3,611,066		3,611,066	
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	67,376,507		67,786,677	
自己資本比率				
自己資本比率 [(ハ) / (ニ)]	19.61%		20.21%	

（注）自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。

なお、当金庫は国内基準を採用しております。

安全性の バロメーター

Safety

不良債権の処理については、当金庫の経営の健全性に多大な影響を及ぼす重要な課題であるとの認識のもと、発生防止と早期解消による資産健全化に努めております。

令和6年9月末の信用金庫法開示債権(リスク管理債権)及び金融再生法開示債権は6,121百万円となり、総与信残高に占める割合は8.54%となりました。


● 信用金庫法に基づくリスク管理債権及び引当・保全状況

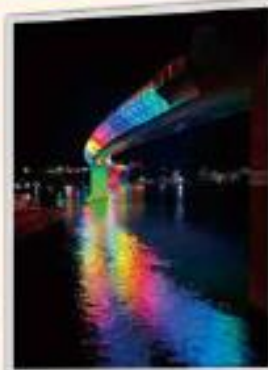
(単位：百万円、%)

区 分		開示残高 (a)	保 全 額			保全率 (b)/(a)	引当率 (a-c)/(d)
			保全合計 (b)	担保・保証等 による回収見 込額 (c)	貸倒引当金 (d)		
破産更生債権及び これらに準ずる債権	令和6年3月末	2,127	2,127	898	1,228	100.00	100.00
	令和6年9月末	2,035	2,035	852	1,182	100.00	100.00
危 険 債 権	令和6年3月末	4,150	3,766	2,324	1,441	90.74	78.96
	令和6年9月末	4,035	3,673	2,309	1,364	91.04	79.06
要 管 理 債 権	令和6年3月末	48	17	17	0	36.33	0.85
	令和6年9月末	50	19	19	0	37.93	0.28
	三月以上延滞債権	令和6年3月末	2	0	0	2.80	2.80
		令和6年9月末	6	1	0	26.55	0.00
	貸出条件緩和債権	令和6年3月末	46	17	0	38.04	0.69
		令和6年9月末	44	17	0	39.54	0.33
小 計 (A)	令和6年3月末	6,326	5,911	3,240	2,670	93.43	86.54
	令和6年9月末	6,121	5,728	3,180	2,547	93.58	86.64
正 常 債 権 (B)	令和6年3月末	63,962					
	令和6年9月末	65,561					
総 与 信 残 高 (A) + (B)	令和6年3月末	70,289					
	令和6年9月末	71,682					

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
3. 「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
4. 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
5. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
6. 「正常債権」(B)とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。
7. 「担保・保証等による回収見込額」(c)は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
8. 「貸倒引当金」(d)には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。
9. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債(その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)によるものに限る。)、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借又は貸貸借契約によるものに限る。)です。

第3回 あましんフォトコンテスト

テーマ  ~「写真」でつながる天草~
もっと教えてあげたい天草のよかところ



コンセプト

地域と共に成長していくという当金庫のパーパスに基づき、地域の皆様と共に「活力あふれる天草」を天草の魅力として発信していくため、フォトコンテストを開催します。
フォトコンテストに参加いただき、自分が住む地域を「見て」、「知る」機会を提供し、改めて“天草の良さ”を感じていただきます。

募集期間

令和6年11月1日(金) ~ 令和7年1月31日(金)

(詳しくはこちら)



※掲載の写真はすべて「第2回あましんフォトコンテスト」の入賞作品です。